

金沢から考える
都市の緑と文化、
人々のつながり

都市生態系再生

事前申込制
入場無料
定員100名

事前申込制
入場無料
定員100名



都市生態系再生国際シンポジウム 2025.5/22 国際生物多様性の日



開催趣旨



都市が進化を続けるなかで、自然、文化、そしてコミュニティのつながりは、都市のアイデンティティをかたちづくり、持続可能な未来への道を拓く重要な要素です。今回、UNEPの「世代間環境回復プロジェクト (Generation Restoration Project)」においてモデル都市に選定された金沢を舞台に、地域住民の参画や文化的資源を生かした都市生態系の再生について、国内外の専門家やモデル都市・パイロット都市の代表が意見を交わします。

自然の再生は単なる緑地整備にとどまらず、文化や暮らしと結びついた包括的な取り組みであり、市民の関与によってこそ、都市の日常空間に息づいていくものです。本イベントでは、自然を活用した解決策 (Nature-based Solutions) に注目し、多様な都市の経験を共有しながら、活気と持続性を備えた都市づくりに向けた新たなアクションを探ります。



スケジュール

第1部／基調講演 14:00～15:15

人と地球のための都市自然： 生態系の再生とコミュニティの再構築

国連環境計画 (UNEP) 都市自然、
アソシエイトプログラムオフィサー

ユリア・ルブレバ氏 Yulia Rubleva



国連環境計画、「国連生態系回復の10年」における「世代間環境回復プロジェクト (Generation Restoration Project)」が目指すところ、課題、そして都市の役割。

PROFILE

国際連合の機関 (ユネスコや国連環境計画) や国際自然保護連合 (IUCN) での勤務を通じて、気候変動、生物多様性、資源効率環境の持続可能性に関する複合的なプロジェクトを、国レベルから都市・地方レベルまで幅広く管理してきた11年以上の経験を持ち、現在は国連環境計画 (UNEP) において「自然都市」を担当するチームのフォーカルポイントを務めています。

都市のウェルビーイングとレジリエンス、 そして人と人をつなぐ自然の力

持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会
(ICLEI) 生物多様性、自然と健康ディレクター

イングリッド・クーツイー氏 Ingrid Coetzee



都市の自然や文化、コミュニティの役割に注目し、生物多様性が健康やレジリエンス、都市のアイデンティティにどう貢献するかを国際的な視点で探る。

PROFILE

持続可能性、アドボカシー、ガバナンス分野で40年以上の経験を持ち、都市計画や意思決定において自然の恩恵を主流化し、都市をより緑豊かで健康的、レジリエントな場所にすることを目指しています。生物多様性の擁護を主な関心とし、ICLEIで生物多様性アドボカシーをリードしています。

自然共生社会の実現に向けた 都市の役割

環境省自然環境局自然環境計画課
生物多様性戦略推進室 室長

鈴木 渉氏



昆明モントリオール生物多様性枠組や国内での取組をもとに、自然と共生する社会を実現するために都市期待されている役割などについてご紹介します。

PROFILE

1994年に環境庁入庁。環境省の自然環境計画課、野生生物課、生物多様性センターなどに勤務の後、国連大学サステイナビリティ高等研究所 (UNU-IAS)、IPBESアジア・オセアニア地域アセスメント技術支援機関、生物多様性条約 (CBD) 事務局等の国際機関を経て、2022年7月より現職。CBD事務局では、生物多様性日本基金を通して開発途上国における能力開発の支援に携わりました。現在は、CBD、IPBESなどの生物多様性に関する国際的枠組の実施等に、日本政府の立場で関わっています。

第2部／各都市紹介及びパネルディスカッション 15:30～17:00



ディスカッションテーマ

住民主体の都市再生：文化・自然・グローバルな視点から

モデレーター

持続可能な都市と地域をめざす
自治体協議会 (ICLEI) 日本事務局長

内田 東吾氏

PROFILE

2006年5月に国際協力銀行 (JBIC) に入行。専門調査員として世界銀行、アジア開発銀行などの国際機関のほか、韓国・中国・タイなどの援助機関との連携業務に携わる。2009年4月から国際協力機構 (JICA) の企画調査員としてタイに3年、カンボジアに5年勤務。環境・気候変動分野の国際協力事業を担当し、環境公害対策、気候変動対策のほか、都市の環境インフラ支援事業に従事。2017年7月に (公財) 地球環境戦略研究機関 (IGES) に入所、ASEAN各国都市のSDGs推進事業を担当。2018年7月より現職。

お申込方法 入場ご希望の方は、事前の申込が必要です。[定員100名]

●申込方法／WEB申込フォームまたはファックスにより受け付けます。

申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。
抽選結果は締切後の5月12日 (月) 頃に当選、落選共にお知らせいたします。

パソコン・スマートフォンでのお申し込み

下記URLまたは右記二次元コードを読み込んで、
お申し込みください。
<https://e-ve.event-form.jp/event/100905/symposium>

FAXでのお申込み

氏名、住所、電話番号をご記入の上、
お申し込みください。
FAX: 076-262-2618

WEBの
お申し込みは
こちらから



[お問い合わせ先]

〒920-0919
石川県金沢市南町2-1 ケー・シー・エス内
「都市生態系再生国際シンポジウムin金沢」係
TEL: 076-224-4141 (平日10:00～18:00)

※お申し込みされた方の個人情報、今回の催し以外に
使用することはありません。

●申込締切／2025年5月10日 (土)